

UNION NEWS

<https://jrtu.jp>

東海旅客鉄道労働組合

E-mail sodan@jrtu.or.jp

東京本部 〒108-0075 東京都港区港南2-1-95 (03)6718-1251
JR東海品川ビル3階3F
名古屋本部 〒453-0002 名古屋市中村区名駅1-1-13 (052)586-3127

JR東海ユニオン

(1部20円)組合員の購読料に含む

発行人 鎌田 隆司 / 編集人 伊藤 大輔

JR東海ユニオン最大の取組み



全職場総対話行動がスタート!

～組織強化の取組みとして、対面による総対話行動を展開!～

JR東海ユニオン発足以来の最重点取り組みである2025秋の「全職場総対話行動」が、本日10月1日(水)から12月12日(金)までの約2か月半にわたって開催となる。すべての分会が一斉に総対話行動の運営を行い、支部・地本・総支部・中央本部が一体となって実施していく。

「全職場総対話行動」は、組織強化および組織内コミュニケーションの充実を図る上で重要な役割がある。具体的には、直接顔を合わせて双方方向に議論すること、組合員の想いや課題の本質を確認できるだけでなく、組合員からの意見・要望の「熱量」をその場で共有できること。また、「ぎょうむそくほう」や「ぎょうむれぼ」とには記載しきれない行間のやりとりを共有することができ、様々な課題の把握と解決に向けた方向性の議論にもつながることが挙げられる。

こうしたメリットを最大化するために、今回の「全職場総対話行動」も「対面形式」にこだわって取り組みを展開する。

各級機関が組織強化の取組みとして「UNION FUTURE 2027」に基づく運動を展開し、全組合員で「総対話行動に行こう!」と声を掛け合い「全職場総対話行動」を盛り上げていく!



総対話行動のようす(名古屋地本車両部分会)



総対話行動のようす(美濃太田車両区分会)

全職場総対話行動の進め方

2025秋の「全職場総対話行動」は、各級機関において「対面」での開催による総対話行動の取り組みを展開する。

取り組み方法については、**全員参加型の集会形式(直接対話)**により開催とし、各分会において組合員全員に声を掛け、集会への参加を要請する。

■総対話行動実施にあたってのポイント

- ・分会が主体となって総対話行動を運営する
- ・会場確保は便宜供用申請を必ず行う
- ・参加率50%以上を目標とし、40%未満の分会を発生させないよう取り組む
- ・各級機関においては、組織強化のサイクル(議論→活動→情報展開)を意識して取り組むこととし、集会等で組合員へ報告する
- ・集会で挙げられた意見は、分会が責任をもって集約のうえ、速やかに上部機関(支部、地本・総支部)へ報告する
- ・集会後、職場特有の課題等について分会で2WAYコミュニケーションを展開する

※詳細は、「みんなでアクション!ガイドブック～分会役員の手引き～」に記載してあるため、確認したうえで集会に臨もう!